

がくどう
学童だより

10月号

だいいち

令和元年10月1日(火)
社会福祉法人さつき福祉会
夜間学童子どもの家「大地」

じゅう じつ あき 充 実 の 秋 に !

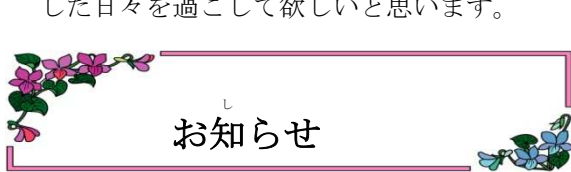
しゅうぶん ひ す あき けはい ひ まし こ
 秋分の日が過ぎ、秋の気配も日増しに濃くなってきました。

こ ども たち とうしょ すす しゅくだい おし すがた み
 子ども達は、登所すると進んで宿題をしたり、教えあったりする姿が見られます。

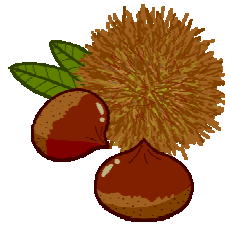
いちねんせい かんじ れんしゅう かず けいさん なんじ なんじはん べんきょう
 一年生は、カタカナや漢字の練習、20までの数の計算や何時や何時半などの勉強
 をしています。二年生は、漢字の数も増え難しい漢字も出て来ています。また3桁
 の筆算の勉強もしています。三年生は、新出漢字も増え漢字帳のますも小さくな
 っています。あまりのある割り算を1日に何十問もしています。みんなそれぞれ学
 習内容が進んでいますが頑張っています。自由時間には、ブロック、ラキュー、折
 り紙などを使って様々な物を作って遊んでいます

こ ども たち ゆた そうぞうりよく かんしん おどろ
 子ども達の豊かな想像力に関心し驚いています。

に がつき どくしょ あき
 二学期は、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・と言われるように、いろ
 いろなことに挑戦しやすい時期です。自分の好きなことに挑戦して、ますます充実
 した日々を過ごして欲しいと思います。



お知らせ

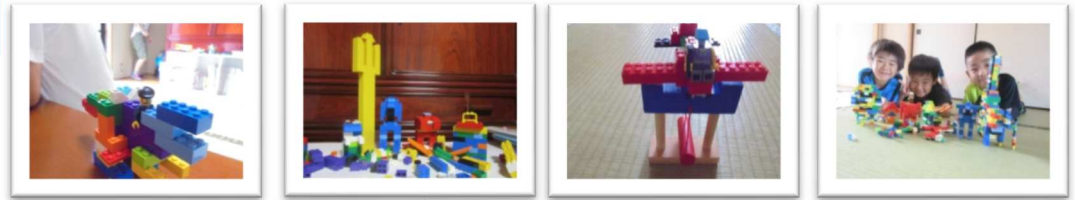


○10月19日(土)は第4回昼食会を行いますので
 お弁当は要りません。献立は未定です。

※財津さんを招いて、白頃のご厚意に感謝の気持ちを伝え
 交流を深めたいと思います!

そうぞうりよく 想像力ゆたか! こ 子どもたちの作品集 さくひんしゅう

☆子どもたちの力作をご覧ください!



どくしょ あき ほん なかよ
読書の秋～本と仲良しになる～

しょうがっこう
 小学校などではよくこのような質問が聞かれます。

「うちの子は四年生ですが、本を読みません。(つまり、読めません) どうしたらよいでしょうか?」

このことは、文字は読めても本が読めるわけではないことを示しています。どうしてでしょうか。

ほん よ
 本を読むということは、本の言葉を頭のなかで瞬間的に絵(イメージ)に描き、それを連続させていくことです。それなしには、人は本を読み進めることはできません。

えほん よ
 絵本を読んでもらっている子どものなかでは、目の前の絵本の絵は、読んでもらっている物語を追いかけるように変化していきます。そうやって、次の頁の絵との間の実際には見えない絵を、まるで映画のフィルムのように心のスクリーンに映し出しているのです。それができてようやく、物語を理解し、楽しむことができます。

こ ども が 文字を拾い読みする姿は微笑ましいものですが、それは文字という記号を音声に換えているに過ぎず、本を読んでいることにはなりません。

この「目に見えないもの(絵)を見る力(想像力)」が今、絵本を楽しみ、将来、自分で本を読むために必要な力です。その力は、絵本を読んでもらうことによって培われます。これは過保護でもなんでもありません。子どもが、絵本や本と仲良しになっていくためのしぜんな道筋なのです。

是非、ご家庭でも絵本を読んであげてください!